

2023年度二松学舎大学
日本漢学研究センター シンポジウム

転換期における 東アジア文化交流と 漢学

日時：2023年10月28日（土） 9：30～16：30

会場：九段校舎3号館(千代田区九段南2-2-4) 3041教室

主催：二松学舎大学日本漢学研究センター

オンラインにて漢学者記念館会議も開催

入場無料・事前申込不要

Zoomでの参加をご希望される方は、10月26日(木)午前10時までに
申込フォームからお申込みください。
開催日前日までにZoomのURL等をお送りいたします。



<https://forms.gle/fXp9qrzgaUw9434M8>

連絡先：二松学舎大学日本漢学研究センター kangaku@nishogakusha-u.ac.jp

2023 年度 日本漢学研究センター シンポジウム

「転換期における東アジア文化交流と漢学」

開催趣旨

本シンポジウムは、このたび漢学塾二松学舎出身で中国大陸において通訳として 30 年以上にわたり活動した清宮宗親（1876～1936）という一人の中国通の資料が寄贈されたことを契機として、19 世紀末～20 世紀初頭の転換期に東アジア諸地域においてみられた様々な文化的交流について、「漢学」に焦点を当てながら討論するための場として企画された。当該期は国内では新しい中国研究が興隆する一方で、「漢字漢文」の文化伝統が減退していった時期であり、また激動する国際秩序の中で対外戦争や疫病に人々が呻吟した時代でもあった。過去の人々の営為の具体的検証を通して、今日の生きる糧を得る機会としたい。

2023 年 10 月 28 日（土）9：30～16：30

会場：九段校舎 3 号館 3041 教室

プログラム

（午前の部）

総合司会：川邊雄大

- ・ 9：30～ 9：50 町 泉寿郎（二松学舎大学）：趣旨説明・展示解説
- ・ 9：50～10：30 王 宝 平（二松学舎大学）：講演「兪樾の『東瀛詩選』は代編作か」
- ・ 10：30～11：10 陶 徳 民（関西大学名誉教授）：講演「日本の漢文脈との出会いと付き合い」
- ・ 11：20～11：50 田山泰三（香川県）：「黒木欽堂と長尾雨山—二松学舎ゆかりの讃岐出身の二大漢学者」
- ・ 11：50～12：20 青山大介（安井息軒記念館）：「安井息軒による明治初期の日中学術交流」
- ・ 12：20～13：50 漢学者記念館会議

九段1号館地下3階大学資料展示室企画展「三島中洲と近代 其九
二松学舎に学び中国大陸で活動した人たち—新収の清宮宗親資料から—」の見学

(午後の部)

- ・ 13:50~14:20 中村 聡 (二松学舎大学):「日本に再上陸したキリスト教の特徴を考える」
- ・ 14:20~14:40 王 弘 (二松学舎大学(院)):「1920~30年代の大連詩壇における日中文人交流—李文権を通して見る詩壇の変遷—」
- ・ 14:40~15:00 張 付梅 (二松学舎大学(院)):「服部宇之吉と『燕塵』」
- ・ 15:00~15:20 山形 悠 (二松学舎大学(院)):「南拝山と東洋医道会—台湾における漢方存続運動への影響—」
- ・ 15:30~16:30 総合討論・閉会